

開会のあいさつ 活動報告「越境地域政策研究の現状」

川井 伸一氏（愛知大学学長）

戸田 敏行氏（愛知大学三遠南信地域連携研究センター長）

日 時：2018年2月10日（土）10：15～10：30

場 所：愛知大学豊橋校舎 記念会館 3F

○司会：皆さま、おはようございます。本日は寒さが一段と厳しく、土曜日の午前中にもかかわらずご参加いただきまして、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、ただいまより、愛知大学三遠南信地域連携研究センター主催「2017年度越境地域政策研究フォーラム」を開催したいと思います。

それでは、開催に先立ちまして本学学長の川井伸一よりごあいさつを申し上げます。

○川井：皆さま、おはようございます。愛知大学の学長をしております川井でございます。本日はご多用のおりご参集いただき、心より御礼申し上げたいと思います。

このフォーラムは今回で5回目です。愛知大学三遠南信地域連携研究センターが2013年に共同利用・共同研究拠点として指定されて以来、毎年実施しております。

以前から大学における地域連携・社会貢献ということが課題になっておりますが、近年におきましては、「地域創生」との関わりで地域における大学の役割が議論されているということです。大学と地域連携・社会連携との関わりという点では、愛知大学も長年の間、取り組みを進めておりました。現在、それを積極的に、先進的に推進している愛知大学の組織として、三遠南信地域連携研究センターがあるということです。

あとで紹介があるかもしれませんが、共同利用・共同研究拠点ということは申し上げましたが、それ以外にも、三遠南信地域の産学官の地域連携組織として四半世紀の歴史を持っている「三遠南信地域連携ビジョン推進会議」に、愛知大学もメンバーとして加わって

おります。さらに申し上げたいのは、三遠南信地域連携研究センターが、三遠南信地域の将来のビジョンを策定する役割を期待されているということがございます。そして、同時に実務面においても、SENAの事務局の分室がセンターの中に置かれています。その意味では、単に研究だけではなく、実際の連携実務の上においても貢献をしているということで、私としても誇りに思っているところです。

簡単に申し上げましたが、今回は、パンフレットにもありますように極めて多様なテーマが盛り込まれており、大変豊富な内容になっているのではないかと思います。このセミナーの中で地域連携の在り方、特に大学としてどのようなことが期待され、どのようなかたちで可能なかということも含め、十分に議論し、考えていただく場になれば幸いです。

最後になりますが、本日は、愛知大学以外の先生方、研究者の方々にご参集いただいております。基調講演をされる柴崎亮介先生をはじめとして、シンポジウムに参加の方々、さらには午後の各分科会での報告者およびコメンテーターの先生方に対しまして、私から御礼を申し上げたいと思います。どうぞよろしくお願いをいたします。

簡単ではございますが、以上をもちまして私のあいさつとさせていただきます。

○司会：それでは続きまして、当センターセンター長の戸田敏行より、「越境地域政策研究の現状」としまして、当センターおよび本フォーラムについて説明をさせていただきます。

スライド左図は日本地図ですが、県境に接する市町村は全市町村の約４割になります。市町村が広域化を図る場合、コントロールあるいは統治していくことが難しい地域です。広域的に行政を越えることができない

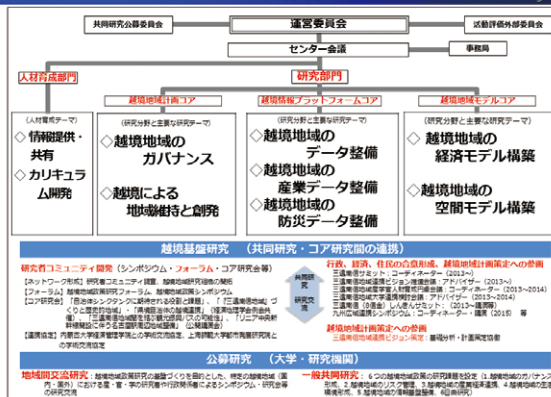
また、先ほど川井学長からお話があったとおり、三遠南信エリアや全国の研究対象エリアに対して、越境政策研究の成果を応用していくことをおこなっております。

-

県境に接する市町村

越境地域政策

スライド1. 越境地域政策の必要性



スライド2. 研究体制

スライド3は各研究コアの研究テーマです。現在の主なテーマを例示しますと、「越境地域計画コア」では、地方創生事業における広域連携が越境的な効果をどう持つのかという研究をしています。また「越境情報プラットフォームコア」では、自動車産業において、部品産業の空間的な繋がりがどのようになるのかというという経済的な分析をしています。そして、「越境地域モデルコア」では、県境周辺の大店立地をどのようにコントロールしていくのかという研究をしています。

研究分野：課題			研究テーマ
地域計画・計画コ			
地域計画ガバナ	ガバナンス	危機を越えた自治体間の連携に関する研究：戸田研樹、高橋大輔、小川美穂（2013年・コア研究） 危機を越えた自治体間の連携に関する研究：戸田研樹、高橋大輔、小川美穂、鈴木孝幸（2013年・コア研究） 三連自治体危機対応事業に関する研究：戸田研樹、小川美穂、鈴木孝幸、森本隆貴（2016年・コア研究） 地方財政状況における地域連携の意義に関する研究：戸田研樹、小川美穂（2016年・コア研究）	
地域における地域	生活環境形成	南信州圏への移住と二地帯化に関する研究：戸田研樹、小川美穂（2014年・コア研究） 将来予測に基づく地域計画立案に関する研究：戸田研樹、小川美穂、鈴木孝幸、森本隆貴（2016年・コア研究）	
地域情報プラット	フォームコ		
地域地域の近き	近接性・近接性	自動車単独生産地域への近接性の検証：戸田研樹（2014年・コア研究） 自動車単独生産の近接性の検証に関する研究：西沢、松本浩吉（2018年・コア研究）	
地域地域の経済	リスク管理	経済成長と大規模災害復旧における社会リスクに関する研究（予稿）：大塚孝子、野村桃、霧海（2018年・コア研究） （2017年・コア研究） 被災地を越えた二地帯化の地域連携におけるGISを活用したシミュレーション研究（予稿）：春日貴典、野村桃、西澤達也（2017年・コア研究）	
地域地域の基盤	情報基盤整備	地域自治体の基盤データに関するデータベース構築：西沢、松本浩吉、加藤達也（2017年・コア研究） 地方自治体基盤データに関するデータベース構築に関する研究：西沢、松本浩吉（2018年・コア研究）	
地域地域のモ	デル		
地域地域の空間	ガバナンス	名古屋大規模地震に関する地域計画研究：鈴木孝幸（2014年・コア研究） 大規模地震における大規模災害復旧に関する研究（予稿）：西沢、松本浩吉（2018年・コア研究）	
地域地域の	リスク管理	シカゴと大規模地震の備忘録に関する研究（予稿）：松本浩吉、松本浩吉（2014年・コア研究） 大規模地震における地域計画と大規模災害復旧に関する研究：戸田研樹、小川美穂、松本浩吉、松本浩吉、西沢達也、西沢達也、西沢達也（2017年・コア研究） 避難の意思決定にみる避難計画の地域特性に関する研究（予稿）：村山直樹（2017年・コア研究）	
産業経済連携		産地間社会における地域経済連携と中小企業への影響に関する地域計画研究（予稿）：松本浩吉（予稿） （2017年・コア研究） 産地間社会における地域経済連携と中小企業への影響に関する研究：戸田研樹、小川美穂（2017年・コア研究）	

公募研究2017年度

一般共同研究 9件採択

- ① テーマ：『**カンヌン地域**』 中国内モンゴル自治区を中心とする「**地域地産性**」に関する研究
対象地域：カンヌン自治区・黒龍江省・吉林省・遼寧省・河北省・山西省など。代表者：張曉（中国寧夏大学）
- ② テーマ：『**カンヌン地域**』 中国内モンゴル自治区を中心とする「**地域地産性**」に関する研究
対象地域：黒龍江省・黒龍山北山山脈、海拉尔市、海拉尔市、海拉尔市、海拉尔市、海拉尔市。代表者：高木郁太郎（九州大学）
- ③ テーマ：『**カンヌン地域**』 中国内モンゴル自治区を中心とする「**地域地産性**」に関する研究
対象地域：内蒙古自治区。代表者：陳國強（筑波大学）
- ④ テーマ：『**カンヌン地域**』 中国内モンゴル自治区を中心とする「**地域地産性**」に関する研究
対象地域：内蒙古自治区。代表者：陳國強（筑波大学）
- ⑤ テーマ：『**カンヌン地域**』 中国内モンゴル自治区を中心とする「**地域地産性**」に関する研究
対象地域：内蒙古自治区。代表者：陳國強（筑波大学）
- ⑥ テーマ：『**カンヌン地域**』 中国内モンゴル自治区を中心とする「**地域地産性**」に関する研究
対象地域：内蒙古自治区。代表者：陳國強（筑波大学）
- ⑦ テーマ：『**カンヌン地域**』 中国内モンゴル自治区を中心とする「**地域地産性**」に関する研究
対象地域：内蒙古自治区。代表者：陳國強（筑波大学）
- ⑧ テーマ：『**カンヌン地域**』 中国内モンゴル自治区を中心とする「**地域地産性**」に関する研究
対象地域：内蒙古自治区。代表者：陳國強（筑波大学）
- ⑨ テーマ：『**カンヌン地域**』 中国内モンゴル自治区を中心とする「**地域地産性**」に関する研究
対象地域：内蒙古自治区。代表者：陳國強（筑波大学）

越境地域政策研究拠点の研究ネットワーク【120機関】

分散・統合型研究 地域間交流研究へ一般共同研究

- 国内
- 国際関係
- 海外関係
- 地域間関係
- 学際関係

上越県地域政策研究会（上）

● 共同研究申請
● 共同研究メンバー
● 地域シンポジウム開催
● フォーラム参加

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成28年度	平成27年度
地域間交流研究	5	6	4	2	3
一般共同研究	全数実行中	7	7	7	9
学際研究計	3	11	11	9	10
研究発表場	東京20、シントクア18、長野20、その他10機関				
研究者市場	富山20、石川20、秋田20、その他18機関				
研究者育成	東京10、関東20、中部20、北陸11、九州10、他7ヶ所				

[illegible]

53

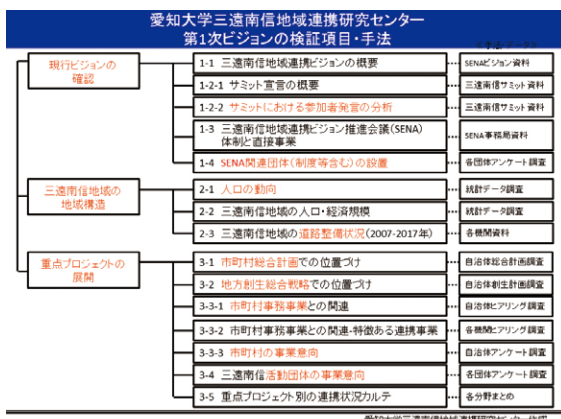
研究連携をさらに深めていくことで、日本の国土計画等に対する一つの方向性が示せるのではないかと考えています。

先ほど川井学長のお話がありましたが、スライド6は三遠南信地域連携研究センターの研究と三遠南信地域との直接的な応用を図示しています。三遠南信地域という愛知県・静岡県・長野県の県境エリアは、39自治体250万人の人口規模を有しています。こうした越境地域では、地域ビジョンがなかなか持てないということが問題になります。三遠南信地域ではすでに地域ビジョンが策定されているのですが、本年が改定期にあたるということで、大学と地域の共同研究として計画の基礎的な部分を担っていくということになっています。スライド7はその内容です。地域ビジョン自体は総合的なものですが、まず実態調査から始めています。スライド8は各市町村のプロジェクトと県境を越えるプロジェクトとの関係性がどう

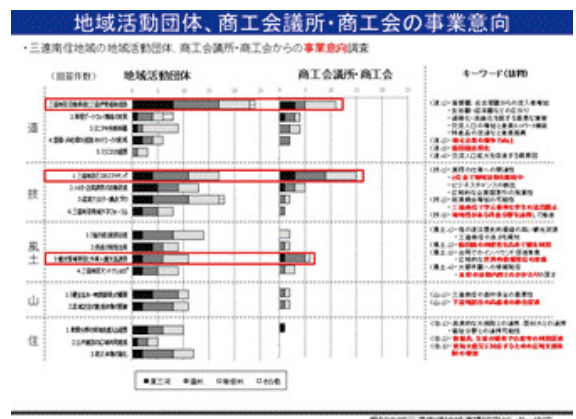
あるかという実態調査結果です。スライド9は経済界のプロジェクトに関する実態調査です。スライド10は海外での活動です。中国内蒙古の事例ですが、10年間、スライドに示すような研究を続けております。「日中共同研究センター」を設置し、内蒙古側と本センターとの共同研究を続けています。

そのほか、入り口のところでお配りをしたと思いますが、『図説 三遠南信のすがた』というGIS（地理情報システム）を使ったデータブックを作成しております。このような地域情報は県単位になっていることが多く、越境地域での一体的なデータを見る機会はないかなと思います。ご興味のある方はご覧ください。

この後、東京大学の柴崎亮介先生の基調講演とシンポジウム「地方創生に向けた地域情報の活用とは」がごございます。午後には「越境地域とガバナンス」「越境



スライド7. 第1次ビジョンの検証項目・手法



スライド9. 地域活動団体、商工会議所の事業意向

市町村事業からの越境可能性

*2016年度調査で、重点プロジェクトに直接関連する市町村事業は366あり、「狭い風土」「山の分野に多い。

重点プロジェクト	関連キーワード	実施事業数			
		第三区	遠州	三遠	東信
1 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	7	1	3	3
2 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	8	5	3	0
3 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	12	1	0	11
4 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	5	5	0	0
5 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	2	1	0	1
6 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	9	3	3	3
7 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	91	18	24	49
8 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	30	7	6	17
9 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	17	3	6	8
10 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	18	2	5	11
11 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	5	1	2	2
12 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	21	6	12	3
13 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	39	9	15	15
14 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	8	4	3	1
15 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	51	13	8	30
16 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	9	2	1	6
17 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	21	7	10	4
18 三遠南信自動車道の整備促進と三遠伊勢湾沿岸道 (伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠)	三遠南信自動車道、伊勢湾沿岸道、伊勢湾、遠州、三遠	11	5	5	1

愛知大学三遠南信地域連携研究センター作成

スライド8. 市町村事業からの越境可能性

内蒙古大学経済管理学院との提携10周年

学術提携協定
2008年両機関の提携協定を結ぶ。

2010年共同研究センター設立

2011年両大学の提携協定を結ぶ。

人員の往来
EMBAの日本研修
砂漠の植林活動
教員の日本長期滞在

毎年学術交流活動
内蒙古大学会場
三遠南信センターの会場
研究フォーラムの参加
GIS学会での共同研究発表
大学院向けのGIS講義

スライド10. 内蒙古大学との提携10周年

地域の防災減災と情報支援」「地理学的視点から見る越境地域」「越境地域と人材育成」「越境地域と歴史・文化」という多様な内容でご議論をいただきたいと思っております。

以上、本センターの概要についてご紹介をさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

(以上)